

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No169号 2012.07.11
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

企業の横暴を擁護する司法 力を出し合い流れを変えよう

5月31日
全労連・東京地評
争議支援総行動

全労連と東京地評は5月31日、争議支援行動を実施しました。派遣切りに雇止め、いわれなき差別に不当解雇等々、争議の解決をめざし、各社の本社前での宣伝行動や要請行動など、争議の早期解決を求めて終日行動を展開しました。東京地裁・高裁前、JAL および明治乳業本社前には、各コースに分かれていた全員が集結。東京地裁・高裁前では500名が参加して相次ぐ不当判決抗議、日航本社前には320名、明治乳業前には340名が集結し、争議の早期解決を訴えました。

相次ぐ不当判決! 東京地裁・高裁へ500人の怒りのシュプレヒコール!



東京地裁・高裁前

各争議団の代表は東京地裁・高裁にて管理官と面会し、公正なる裁判のあり方を求めました。それぞれの代表からは、「裁判官が事実認定せず推測で判決を出している。」「労働者が裁判をするのは、人生をかけた自己主張の最後の場である」「非正規切りが横行する日本の実態を把握してほしい。このままでは日本は沈没する」等の要請をしました。

一方、地裁前の宣伝行動で、JAL 原告からは内田団長は「両判決はどんなに利益を上げようと解雇を有効とした。憲法と整理解雇4要件を蹂躪し、企業の利益第一主義の代弁者となった裁判官は法の番人ではなく非番人です。人員削減しすぎて、710名もの新人を採用する計画が明らかになりました。84名の解雇の一方で矛盾です。5日間の訓練で乗務できる非解雇者を即刻戻すべき。国にも解決を求めて行きます。争議団の皆さんと共に頑張ります。」と訴えました。



内田客乗原告団長



違法派遣のがれの派遣契約打ち切りは許しません＝日赤にて

日本赤十字社前では、山口乗員原告団長が、「一人の解雇でも 165 名の解雇でも首を切られる一人一人は同じ苦しみだ。広瀬さんとともに解雇撤回をめざして勝つまで頑張っていきたい。」と連帯の言葉を述べました。



だめです！契約期間中の雇止め＝資生堂本社前にて

JAL本社前

JAL 本社前には 93 団体 320 名が集結しました。JAL によって会社ごと潰された整備子会社の「日東整」の原告団長の泉さんは、「今年 3 月 14 日に提訴しました。日東整が事業終了したのは日東整の経営の判断だと言いますが、日東整の社長は JAL の整備副本部長です。日東整のが事業終了は明らかに JAL が行ったことです。私たちの解雇を撤回し、JAL の責任で JAL エンジニアリングで雇用を確保することを求めます。そして JAL の安全運航のために JAL の原告団とともに闘っていきます。」と力強く訴えました。



日東整の原告の泉さん



【写真】320 名が日本航空本社前に集結。日東整争議と日本航空の不当解雇事件の解決を要求し、宣伝と要請行動を実施した。

終日行動の最後に 340 名が明治乳業本社に集結しました。要請団はいつものようにガードマンに阻まれ会社の中には入れませんでした。最後に仲間のトランペット演奏が一日行動の疲れを癒してくれました。

明治乳業本社前



最後に明治乳業本社前に集結した争議支援行動の仲間たち



ガードマンに阻まれる要請団